

No. 1 1

有脇小学校校長だより

平成30・11・16

命を守る訓練の1



10月23日(月)不審者対応訓練を行いました。半田警察署生活安全課から2人の警察官に来ていただき、実践を交え研修会を行いました。有脇小学校には不審者に対応するマニュアルはありましたが、対応する道具はありませんでしたし、訓練もここ数年行われていないとのことでした。また、以前の正門が東にあったらしく、職員室は現正門、西門から一番遠く奥まったところにあります。1年生

の教室は、もしも侵入者があった場合、無防備な状況でした。そこでこの夏、各教室、職員室に「さすまた」を配備しました。また、1年生の教室には、職員室直通の非常ベルを設置しました。そしてこの日、「さすまた」の有効な使い方や避難誘導、防犯に関する講話をしていただきました。もし万が一不審者が学校へ来た場合、子どもたちの命を守るのはわたしたち大人である教職員であるという自覚をあらためて持つことができました。不審者に対して有効なことは、まず声をかけることだそうです。「こんにちは。どうされましたか」です。これは地域においてもおなじですよ。

命を守る訓練の2



11月1日(木)火災の避難訓練を行いました。家庭科室から出火したとの想定で行いました。避難完了まで2分40秒でした。「『おはしも』をしっかり守って整然と避難することができましたね。すばらしかったです。」とほめていただきました。全員が運動場へ避難した後、代表者による消火器訓練を行いました。また教室に戻って「煙体験」を行いました。有脇小学校では、毎年全員が体験しています。真剣に訓練

することで、もしもの時にどうすべきかを冷静に判断することができます。「自分の命は自分で守る」。常に備えておきたいと思います。



5年生が取り組んでいる米作りで、先日稲刈りが行われました。「有脇の農地・水・緑を守る会」のみなさんを中心に、学校応援団のみなさんが準備、指導をしてくださいました。刈った稲を束ね、はざ掛けしていきました。中にはとても上手に稲刈りをする子がいました。家で手伝いをやっているそうです。今年は大きな台風が二つも来ました。農業をするということは日照りとか水不足とか、逆に長雨、日照不足、台風といった自然を相手

にしなければなりません。また作物の病気、害虫などの心配もしなければなりません。作物を育てることは「子どもを育てるようなもの」と聞きます。まさしくその通りだと実感しました。

そして、一週間後に脱穀をしました。「千歯こき」「足踏みドラム式」「ハーベスター」

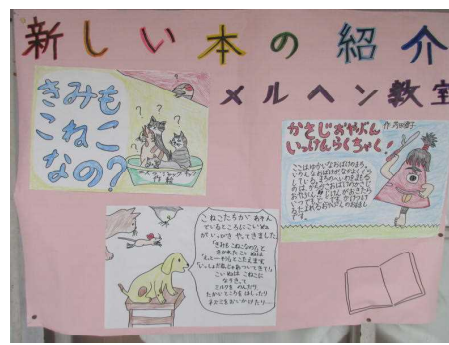


の3種類の脱穀を体験しました。米作りの歴史は社会科で勉強します。その歴史を有脇小学校では体験することができるのです。そして最後は写真付きの袋に精米して下さったお米を入れて、11月15日にプレゼントしていただきました。※このお米の名称：ありわきっこ、品種：あいちのかおり、産地：半田市有脇町、等級：最上級、おいしさ：抜群とラベルに印字されていました。(笑)

いつもの11月ってこんなに暖かかったっけ

読書のすすめ

10月29日から3週間にわたって「図書館まつり」が開催されています。学習委員会が新しい本の紹介をしたり、昼の放送で冒頭部分を読み聞かせしたり（これが結構いいところで終わるのです）、「ミステリーツアー（教員による読み聞かせ）」を企画したりして、読書の楽しさを伝えています。学校応援団の「読み聞かせ」の方々も来てくださっています。読書に親しむ機会をどんどん増やすことができるといいですね。



名古屋弁講座第8弾 今回もわたしがよく使う名古屋弁を紹介します。

- 「ばんげ」→「暗くなってきたとき」 使用例「ばんげになってきたではよ帰れ」
- 「ピー」→「じゃんけんのちょき」 使用例「ピー」（写真を撮る時のピースのこと）